

# CORPORATE PROFILE 2012

---

## 会社概要

ずっと走ろう。シェルと走ろう。

**昭和シェル石油**



# 概要

2011年12月31日現在

商号	昭和シェル石油株式会社			
英文商号	SHOWA SHELL SEKIYU K.K.			
本社所在地	〒135-8074 東京都港区台場2丁目3番2号(台場フロンティアビル)			
設立年月日	1942年8月1日設立の昭和石油株式会社と 1900年4月11日設立のシェル石油株式会社が合併し、 1985年1月1日、昭和シェル石油株式会社として発足			
事業内容	石油事業	国内燃料油販売	<ul style="list-style-type: none"><li>ガソリン・軽油・自動車用潤滑油の販売</li><li>家庭向け灯油の販売</li><li>産業用燃料の販売</li></ul>	
		液化石油ガス(LPG)	<ul style="list-style-type: none"><li>家庭・商業店舗向けクリーンプロパンガスの製造販売</li><li>自動車用クリーンオートガスの製造販売</li><li>工業用クリーンミックスガスの製造販売</li></ul>	
		特殊製品	<ul style="list-style-type: none"><li>潤滑油・グリースなどの製造販売</li><li>道路用アスファルト、土木基礎工事事用部材向けコンパウンドなど、道路・建設資材向け製品の製造販売</li><li>航空機用、船舶用の燃料および潤滑油販売</li></ul>	
		輸出・化成品 (石油化学基礎原料)	<ul style="list-style-type: none"><li>軽油などを中心とする石油関連製品の輸出</li><li>ミックスキシレン・ベンゼン・プロピレンの製造販売</li></ul>	
		製造	<ul style="list-style-type: none"><li>グループ3製油所(昭和四日市石油(株)四日市製油所、東亜石油(株)京浜製油所、西部石油(株)山口製油所)における石油製品の生産</li></ul>	
		太陽電池事業	<ul style="list-style-type: none"><li>次世代型CIS薄膜太陽電池の製造販売</li></ul>	
		その他事業	電力事業	<ul style="list-style-type: none"><li>電力の供給、電力の卸売・小売販売</li></ul>
資本情報	資本金	341億9,758万5,900円	上場市場	東京証券取引所
	発行可能株式総数	440,000,000株	会計監査人	あらた監査法人
	発行済株式総数	376,850,400株	株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉2-8-4
	総株主数	67,697人		
株主情報	大株主	持株比率		
	ザ・シェル・ペトロリウム・カンパニー・リミテッド	33.25%		
	アラムコ・オーバーシーズ・カンパニー・ビー・ヴィ	14.97%		
	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3.71%		
	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3.48%		
	ザ・アングロサクソン・ペトロリウム・カンパニー・リミテッド	1.80%		
	資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	0.94%		
	川崎汽船株式会社	0.93%		
	ラボバンクネダーランド東京支店	0.78%		
	JPモルガン証券株式会社	0.69%		
SSBT ODO5 OMNIBUS ACCOUNT—TREATY CLIENTS	0.58%			
事業年度(決算期)	毎年1月1日から12月31日まで			
主な取引銀行	株式会社みずほコーポレート銀行 株式会社三菱東京UFJ銀行 株式会社三井住友銀行 三井住友信託銀行株式会社 三菱UFJ信託銀行株式会社 株式会社新生銀行 株式会社日本政策投資銀行			
従業員数	1,007名			

# 役員一覧

2012年4月1日現在

## 代表取締役会長

香藤 繁常

## 代表取締役社長

新井 純

## 専務取締役

亀田 繁明

ソーラー事業本部  
[ソーラーフロンティア(株)代表取締役社長]

## 取締役

ダグラス・ウッド

CFO・グループファンクションズ  
[経理財務・債権管理・プロキュアメント・情報企画部門担当]

## 取締役(社外取締役)

宮内 義彦

増田 幸央

アマド・オー・アルコウエイター

リー・ツーヤン

## 監査役

福地 唯三

山田 清孝

## 監査役(社外監査役)

宮崎 緑

山岸 憲司

## 常務執行役員

平野 敦彦

ソーラー事業本部  
[ソーラーフロンティア(株)取締役常務執行役員  
海外営業・サウジアラビアプロジェクト部門担当]

玉井 裕人

石油事業本部  
[電力事業・国際販売・技術商品・ホームソリューション部門担当]

亀岡 剛

石油事業本部  
[販売・営業企画・リテール販売・リテールEPOCHプロジェクト・  
産業エネルギー部門・支店担当]

岡田 智典

石油事業本部  
[製造・流通業務部門・輸入基地担当]

濱元 節

グループファンクションズ  
[経営企画(コーポレートガバナンス担当を含む)部門担当]

伊藤 智明

ソーラー事業本部  
[ソーラーフロンティア(株)取締役常務執行役員 調達部門担当]

## 執行役員

井上 由理

グループファンクションズ  
[法務(個人情報保護担当を含む)部門担当]

新留 加津昭

グループファンクションズ  
[広報・秘書・環境安全(HSSE)・人事・内部統制推進・総務部門担当]

奥田 直雅

石油事業本部 [首都圏支店長]

ブルックス・ヘリング

代表取締役社長付特命事項担当・ソーラー事業本部  
[ソーラーフロンティア(株)執行役員 広報部門担当]

小林 正幸

石油事業本部  
[供給・製品貿易・原油船舶部門・海運担当]

吉岡 勉

グループファンクションズ  
[経理財務・債権管理部門担当]

村田 浩幸

石油事業本部  
[中部支店長]

森下 健一

石油事業本部  
[近畿支店長]

鈴木 達也

石油事業本部  
[新規事業推進・研究開発部門・研究所担当]  
グループファンクションズ  
[海外知財戦略部門担当]

石油事業本部長およびソーラー事業本部長は社長とする。  
監査部門は会長直轄とする。また、行動原則担当は会長とする。

## 昭和シェル石油のあゆみ

### 沿革と現状

昭和シェル石油株式会社は、1985年1月1日、昭和石油株式会社とシェル石油株式会社の合併により誕生しました。

昭和石油株式会社は、1942年8月1日、早山石油株式会社、旭石油株式会社、新津石油株式会社の3社の合併により設立されました。同社は、1949年4月に石油元売業者の指定を受け、同年6月にはシェルグループとの間で原油の輸入と技術導入に対する協定を締結しました。また、1951年に資本関係を結んで以降、両社の提携が強化されました。

一方、シェル石油株式会社の発祥は、明治の初頭(1876年頃)、横浜に進出したサミュエル商会に遡ります。同商会は、1900年に石油部門を独立させ、ライジングサン石油株式会社を設立しました。

同社が手掛けた石油輸入・販売事業は、第2次世界大戦中には一時的な中断を余儀なくされましたが、1949年の石油配給公団の解散に伴い再開を果たしました。同社は、これに先立って、1948年には社名をシェル石油株式会社に変更しています。

このような2社が1985年に合併して発足した昭和シェル石油株式会社は、27年間にわたり、成長を遂げてきました。その間、石油業界は規制緩和を経験し、近年においては需要減退の波に直面しています。

その中であって、当社の特色として挙げられるのは、日本のマーケットを十分に理解した上で、シェルグループの有する国際性を大いに活用していることです。具体的には、グループの持つブランドやトレーディングネットワークといった有形無形の資産を活かすとともに、その優れた情報力や知見を共有しています。また、2004年には、世界最大の産油国の国営会社サウジアラビアン・オイルカンパニー(サウジアラムコ)からの資本参加により、原油調達面での競争力強化を実現しています。

当社を取り巻く事業環境は、構造的に変化しています。石油の国内需要は少子高齢化の進行や消費者の省燃費志向の高まりとともに漸減しています。

また、海外では新規輸出型製油所が出現し、国際競争が激化しています。一方で、再生可能エネルギーへの対応が求められています。

そのような中、当社は中期経営ビジョンを発表し、石油事業に加えて太陽電池事業をコアビジネスと位置付けました。また、石油事業で築いた顧客基盤や信用力を活かし、電力供給やホームソリューションといった事業分野に取り組むことや、将来における事業環境の想定に基づき、次世代に向けた技術や製品開発を進めることを掲げています。

### 石油事業の概況

昭和シェル石油グループの原油処理能力は日量39万5千バレルであり、グループ製油所として、昭和四日市石油 四日市製油所、東亜石油 京浜製油所、西部石油 山口製油所を有しています。

また、提携関係にある富士石油の袖ヶ浦製油所から製品仕入れを行なっています。各グループ製油所は「連続接触再生式接触改質装置」、「流動接触分解装置」、「フレキシコーカー」などの高度な重質油分解能力を装備し、高付加価値製品の生産を実現しています。加えて、安全・安定操業を何よりも優先すると同時に、環境負荷の低減や省エネルギー対策に力を入れています。

販売面では、全国約3,780ヶ所のサービスステーション(SS)を通して、ガソリン・軽油・自動車用潤滑油の販売や各種カーケアビジネスを展開しています。

また、全国の需要家に、軽油・重油・潤滑油・アスファルトなどを販売しています。その他にも、LPG、航空機用・船舶用燃料の販売を手掛けています。

石油製品の国内需要は漸減していますが、その中においても、お客様のニーズに応えるべく、商品・サービス・人材・SS店舗の差別化を図ることで、安定供給を継続し、持続的な発展を目指していきます。

### 太陽電池事業の概況

太陽電池事業について、当社は1978年から研究開発に取り組んでおり、太陽電池パネルの中でも次世代型と言われるCIS薄膜太陽電池の製造技術を開発しました。

CIS薄膜太陽電池は銅・インジウム・セレンの3元素で構成される黒い外観が特長の太陽電池パネルで、今後大きくシェアが伸びると予測される薄膜太陽電池の中でも最も将来性があるとされています。また安定した実発電量を誇り、耐久性にも優れているほか、有害物質を使用しないため、環境にも優しいという特長があります。

当社では2010年4月より、CIS薄膜太陽電池のグローバルな販売体制を強化すべく、太陽電池事業を展開する子会社の社名をソーラーフロンティア株式会社とし、世界統一ブランド、ロゴマークを導入すると同時に、ドイツとアメリカに販売子会社を設立しました。

また、2011年7月にはサウジアラビアに現地事務所を開設し、海外市場においても認知度を高め、販売網を拡大しています。

現在、ソーラーフロンティア株式会社は宮崎第1工場(年産能力20メガワット)、宮崎第2工場(同60メガワット)、宮崎第3工場(国富工場同900メガワット)の3工場を合わせて、約1,000メガワットの設備能力を有しています。

再生可能エネルギーの普及が社会的にも注目を集める中、高い技術力とコスト競争力をもって市場をリードする企業として持続的に成長していくことを目指します。

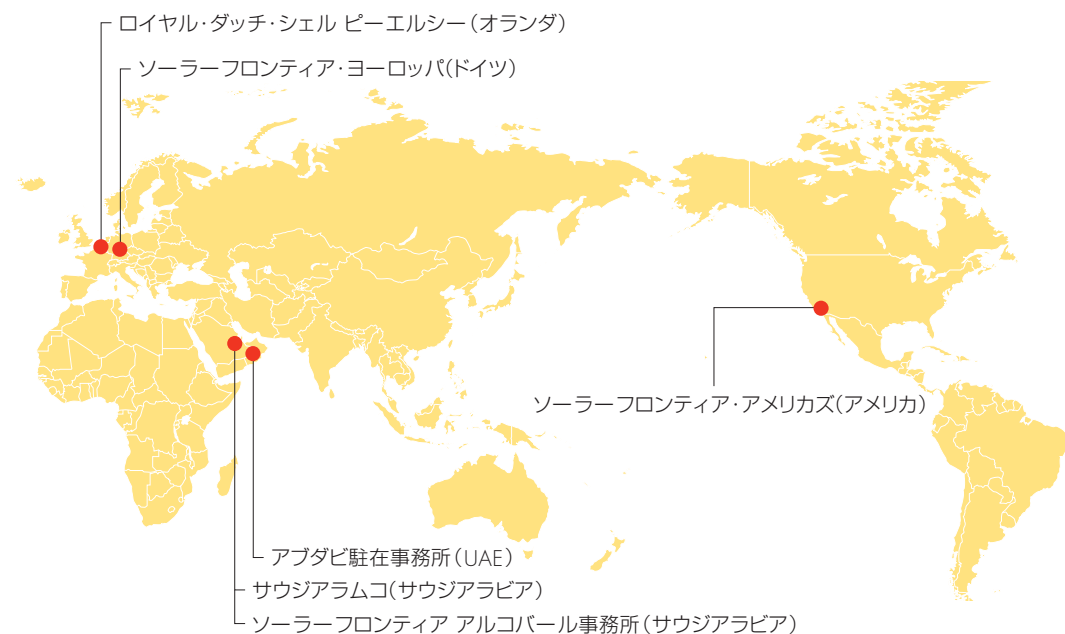
## 主な子会社・関連会社

2011年12月31日現在

会社名	主な事業内容
<b>連結子会社(34社)</b>	
昭和四日市石油(株)	● 石油精製
東亜石油(株)	● 石油精製
昭和シェル船舶(株)	● 外航・内航船舶運送業
平和汽船(株)	● 製油所、石油基地における 構内作業 ● 船舶代理店業
昭石海外石油開発(株)	● 石油・天然ガスなどの探鉱 ● 開発プロジェクト会社の管理統括
昭石エンジニアリング(株)	● 石油関係を中心とする産業施設・ 給油所の設計建設
日本グリース(株)	● グリース、潤滑油の製造販売
ソーラーフロンティア(株)	● 太陽電池モジュール、システムの 開発、製造、販売
昭石化工(株)	● 防水用建材製造・販売・施工 ● 石油製品・アスファルト舗材の 製造販売
(株)ライジングサン	● 自動車関連用品の販売 ● 機器類のリース ● 損害保険代理店業
(株)オンサイトパワー	● 分散電源事業
若松ガス(株)	● 石油製品の販売 ● 都市ガス事業
(株)ジェネックス	● 電力の卸供給
リーフエナジー(株)	● 石油製品販売
(株)サンロード	● 石油製品販売
上燃(株)	● 石油製品販売
(株)新陽石油	● 石油製品販売
中央シェル石油販売(株)	● 石油製品販売
東京シェルパック(株)	● 石油製品販売
中川石油(株)	● 石油製品販売
(株)ベトロスター関西	● 石油製品販売
日商砒油(株)	● 石油製品販売
永瀬石油(株)	● 石油製品販売
(株)エネサンスホールディングス	● 液化ガス販売 ● 高圧ガス他石油関連工事 ● 住宅器具、OA機器販売
他10社	

会社名	主な事業内容
<b>持分法適用関連会社(13社)</b>	
西部石油(株)	● 石油精製
ジャパンオイルネットワーク(株)	● 石油類の保管および受払
新潟石油共同備蓄(株)	● 石油類の貯蔵および受払
(株)ダイヤ昭石	● 石油製品販売
(株)シェル石油大阪発売所	● 石油製品販売
セントラル石油瓦斯(株)	● 石油製品販売
三重石商事(株)	● 石油製品販売
シェル徳発(株)	● 石油製品販売
常陽シェル石油販売(株)	● 石油製品販売
丸紅エネルギー(株)	● 石油製品販売
豊通石油販売(株)	● 石油製品販売
TSアロマティックス(株)	● 石油化学製品の販売
(株)扇島パワー	● 電力等の販売

# ネットワーク



ロイヤル・ダッチ・シェル ピーエルシー本社



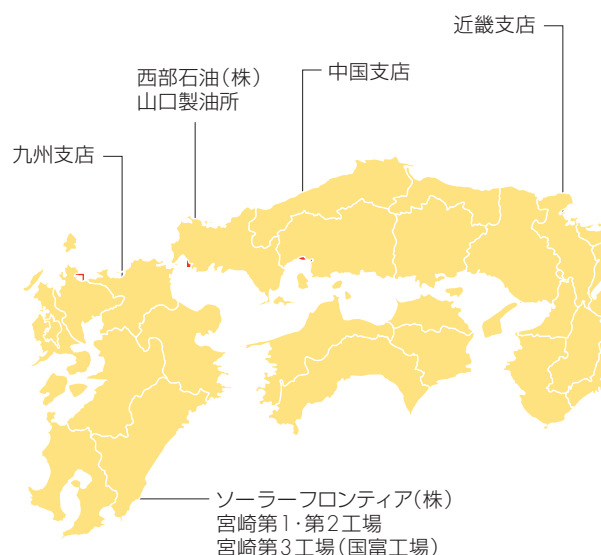
サウジアラムコ本社

写真提供:ロイヤル・ダッチ・シェル ピーエルシーおよびサウジアラムコ



アブダビに駐在員を派遣

- 製油所、輸入基地
- 事業所、油槽所、LPG基地、アスファルト基地
- 本社、支店、研究所など



## 本社

### 監査部

### 石油事業本部

- 営業企画部
- 技術商品部
- 供給部
- 研究開発部
- 原油船舶部
- 国際販売部
- 産業エネルギー部
- 新規事業推進部
- 製造部

- 製品貿易部
- 電力事業部
- 販売部
- ホームソリューション部
- リテール販売部
- リテールEPOCHプロジェクトチーム
- 流通業務部

### ソーラー事業本部

- ソーラー事業本部

### グループファンクションズ

- 海外知財戦略室
- 環境安全 (HSSE) 部
- 経営企画統括部
- 経理財務統括部
- 広報部
- 債権管理チーム
- 情報企画室
- 人事統括部
- 総務部
- 内部統制推進部
- 秘書室
- プロキュアメントチーム
- 法務統括部



昭和シェル石油(株)本社



昭和四日市石油(株)四日市製油所



ソーラーフロンティア(株)  
宮崎第3工場(国富工場)

### 石岡研修センター

### 中央研究所

### 支店

- 北海道支店
- 東北支店
- 首都圏支店
- 関東支店
- 中部支店
- 近畿支店
- 中国支店
- 九州支店

### 新潟石油製品輸入基地

### 事業所

- 横浜事業所
- 神戸事業所

### 油槽所

- 釧路西港油槽所
- 塩釜油槽所
- 佐渡油槽所
- 広島油槽所
- 唐津油槽所

### グループ製油所

- 昭和四日市石油(株)四日市製油所
- 東亜石油(株)京浜製油所
- 西部石油(株)山口製油所

### LPG基地

- 清水LPG基地
- 碧南LPG基地

### アスファルト基地

- 横浜アスファルト基地
- 高松アスファルト基地
- 三重プラント

### 太陽電池工場・研究所

- 厚木リサーチセンター
- 宮崎第1工場
- 宮崎第2工場
- 宮崎第3工場(国富工場)

# 財務データ

2007年12月期～2011年12月期

(百万円)

## 連結貸借対照表要旨

### 資産の部

	2007	2008	2009	2010	2011
<b>流動資産</b>	<b>802,691</b>	<b>676,107</b>	<b>598,562</b>	<b>602,975</b>	<b>658,704</b>
現金及び預金	16,479	73,113	22,235	20,943	15,562
受取手形及び売掛金	386,151	276,218	287,749	291,104	325,622
たな卸資産	361,738	248,088	240,850	236,391	273,946
その他の流動資産	38,321	78,687	47,726	54,535	43,573
<b>固定資産</b>	<b>536,423</b>	<b>533,848</b>	<b>574,177</b>	<b>590,173</b>	<b>549,737</b>
有形固定資産	420,972	435,579	432,336	473,719	454,571
無形固定資産	11,155	11,910	11,355	12,836	11,031
投資その他の資産	104,295	86,358	130,485	103,617	84,135
<b>資産合計</b>	<b>1,339,114</b>	<b>1,209,956</b>	<b>1,172,739</b>	<b>1,193,149</b>	<b>1,208,442</b>

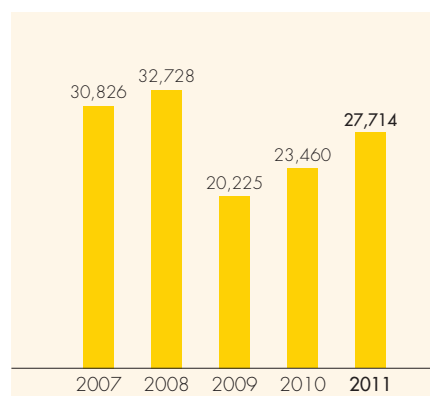
### 負債の部

<b>流動負債</b>	<b>784,839</b>	<b>708,606</b>	<b>721,384</b>	<b>668,517</b>	<b>638,351</b>
支払手形及び買掛金	387,675	231,419	263,382	273,531	294,276
短期借入金及びコマーシャル・ペーパー 及び1年以内償還社債	106,602	213,384	220,580	155,581	110,340
その他の流動負債	290,562	263,801	237,420	239,403	233,735
<b>固定負債</b>	<b>196,005</b>	<b>172,898</b>	<b>193,631</b>	<b>261,626</b>	<b>290,938</b>
社債	30,000	30,200	15,200	35,000	35,000
長期借入金	46,532	35,891	62,292	110,470	133,022
退職給付引当金	73,888	69,560	68,926	72,426	75,335
特別修繕引当金	12,809	17,633	15,622	11,687	16,308
その他の固定負債	32,773	19,611	31,589	32,042	31,271
<b>負債合計</b>	<b>980,845</b>	<b>881,504</b>	<b>915,015</b>	<b>930,143</b>	<b>929,290</b>

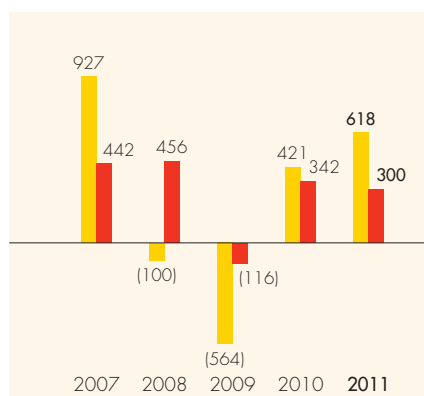
### 純資産の部

<b>株主資本</b>	<b>334,386</b>	<b>304,721</b>	<b>233,537</b>	<b>239,087</b>	<b>255,308</b>
資本金	34,197	34,197	34,197	34,197	34,197
資本剰余金	22,112	22,113	22,113	22,113	22,113
利益剰余金	278,251	248,589	177,408	182,959	199,182
自己株式	(174)	(178)	(181)	(183)	(184)
評価・換算差額等	4,546	2,092	1,979	1,117	557
少数株主持分	19,336	21,637	22,206	22,801	23,286
<b>純資産合計</b>	<b>358,269</b>	<b>328,451</b>	<b>257,723</b>	<b>263,006</b>	<b>279,152</b>
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>1,339,114</b>	<b>1,209,956</b>	<b>1,172,739</b>	<b>1,193,149</b>	<b>1,208,442</b>

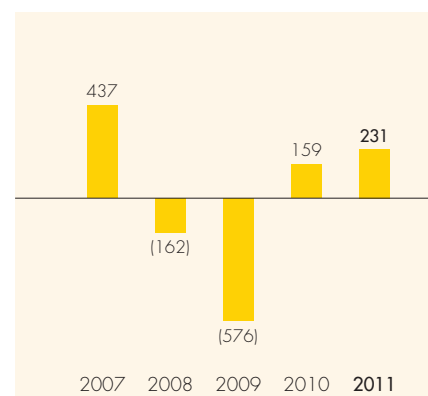
売上高の推移(億円)



経常利益(損失)の推移(億円)



当期純利益(損失)の推移(億円)



■ 経常利益(損失)

■ CCSベース経常利益(損失)\*1

\*1 CCS(カレント・コスト・オブ・サプライ)ベースの収益: たな卸資産評価の影響を除いた原価を用いて算出する収益

(百万円)

	2007	2008	2009	2010	2011
<b>連結損益計算書要旨</b>					
売上高	3,082,641	3,272,801	2,022,520	2,346,081	2,771,418
売上原価	2,874,422	3,161,950	1,956,623	2,183,535	2,582,339
売上総利益	208,219	110,851	65,896	162,545	189,078
販売費及び一般管理費	119,405	123,134	123,038	125,844	128,790
営業利益(損失)	88,813	(12,283)	(57,142)	36,701	60,288
経常利益(損失)	92,709	(10,065)	(56,455)	42,148	61,807
当期純利益(損失)	43,729	(16,221)	(57,619)	15,956	23,110
CCSベース経常利益(損失)*1	44,271	45,697	(11,691)	34,286	30,020

**連結キャッシュ・フロー計算書要旨**

営業活動によるキャッシュ・フロー	44,796	26,631	(7,395)	89,836	50,551
投資活動によるキャッシュ・フロー	(25,687)	(42,932)	(47,761)	(82,510)	(24,560)
フリー・キャッシュ・フロー*2	19,108	(16,301)	(55,156)	7,325	25,991
財務活動によるキャッシュ・フロー	(21,029)	72,337	4,371	(8,671)	(31,159)

**1株当たり金額**

純資産(円)	899.90	814.63	625.33	637.78	679.37
当期純利益(損失)(円)	116.12	(43.07)	(152.99)	42.37	61.36
配当金(円)	36	36	36	18	18
配当性向(%)*3	29.8	—	—	30.3	310.3

**業績・財務指標**

売上高営業利益率(%)	2.9	—	—	1.6	2.2
売上高当期純利益率(%)	1.4	—	—	0.7	0.8
総資産当期純利益率(ROA)(%)	3.3	—	—	1.3	1.9
自己資本当期純利益率(ROE)(%)*4	13.5	—	—	6.7	9.3
自己資本比率(%)*5	25.3	25.4	20.1	20.1	21.2
流動比率(%)*6	102.3	95.4	83.0	90.2	103.2
ギアリング・レシオ(%)*7	33.0	40.2	53.9	53.8	50.7
期末発行済株式数(千株)*8	376,633	376,630	376,627	376,625	376,624

\*1 CCS(カレント・コスト・オブ・サプライ)ベースの収益: たな卸資産評価の影響を除いた原価を用いて算出する収益

\*2 フリー・キャッシュ・フロー=営業活動によるキャッシュ・フロー+投資活動によるキャッシュ・フロー

\*3 配当性向=1株当たり配当金/1株当たり当期純利益(単体)

\*4 自己資本当期純利益率=当期純利益/自己資本(期首、期末の平均)

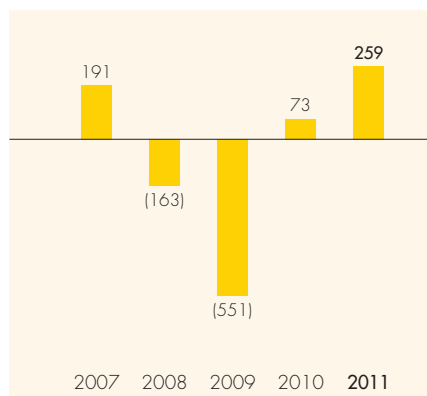
\*5 自己資本比率=自己資本/総資産

\*6 流動比率=流動資産/流動負債

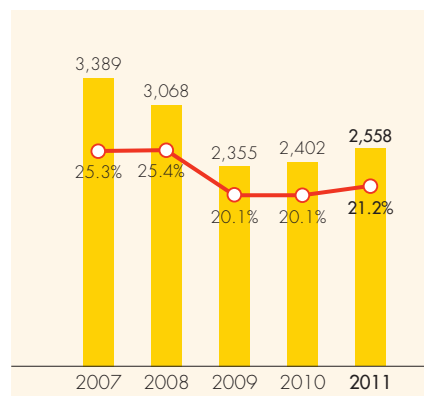
\*7 ギアリング・レシオ=期末有利子負債(現金及び預金を除く)/使用資本(現金及び預金を除く)

\*8 自己株式を除く。自己株式には持分法適用関連会社が保有している当社株式を含む。

フリー・キャッシュ・フローの推移(億円)



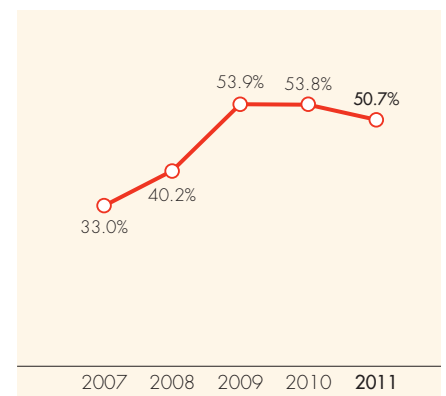
自己資本(億円)および自己資本比率の推移(%)



■ 自己資本(純資産-少数株主持分)

— 自己資本比率

ギアリング・レシオの推移(%)



# 事業データ

2007年12月期～2011年12月期

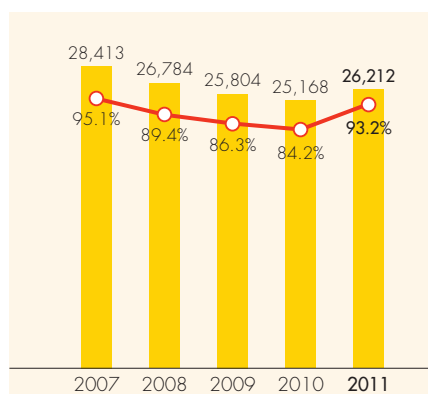
	2007	2008	2009	2010	2011
<b>製油所データ</b>					
原油処理実績(千kℓ) <sup>*1</sup> .....	28,413	26,784	25,804	25,168	26,212
稼働率(%) <sup>*1</sup> .....	95.1	89.4	86.3	84.2	93.2
<b>石油製品販売数量(千kℓ)</b>					
揮発油 .....	10,234	9,598	9,249	9,089	9,494
JET燃料 .....	2,241	2,021	2,186	2,105	2,077
灯油 .....	3,356	2,916	2,573	2,407	2,816
軽油 .....	5,391	4,865	4,531	4,377	4,952
A重油 .....	2,137	1,792	1,581	1,433	1,610
C重油 .....	2,925	2,619	1,694	1,424	1,769
その他 <sup>*2</sup> .....	5,119	5,316	4,704	4,195	4,195
輸出 .....	859	2,453	2,680	4,606	3,548
総合計(千kℓ) .....	32,262	31,581	29,198	29,637	30,462
<b>販売データ</b>					
ガソリンマーケットシェア(%) <sup>*3</sup> .....	16.1	16.1	15.5	15.0	15.5
ハイオクガソリンマーケットシェア(%) <sup>*3</sup> .....	15.9	16.0	16.0	16.4	16.6
固定式SS数 .....	4,481	4,305	4,143	3,948	3,782
セルフSS数 .....	719	852	947	960	963

\*1 四日市製油所、京浜製油所、山口製油所の合計。

\*2 ナフサ、LPG、潤滑油、アスファルト、生焚原油、石炭などを含む。カーゴトレードは除く。

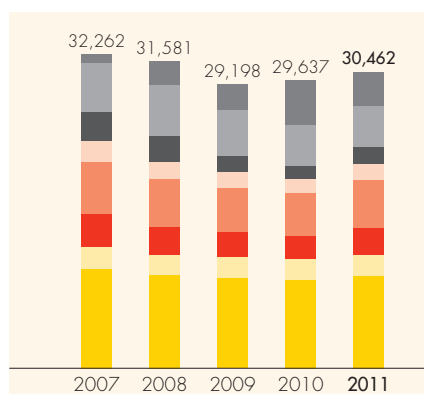
\*3 当社調べ。

原油処理実績(千kℓ)および稼働率の推移(%)



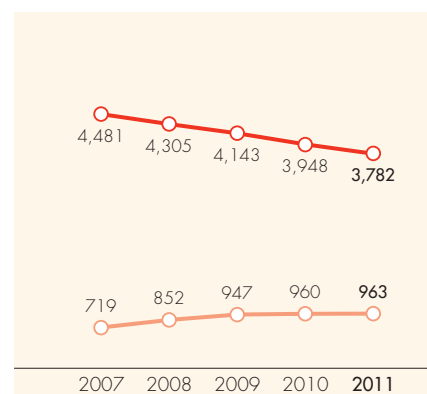
■ 原油処理実績 ■ 稼働率

石油製品販売数量の推移(千kℓ)



■ 揮発油 ■ JET燃料 ■ 灯油 ■ 軽油 ■ A重油 ■ C重油 ■ その他 ■ 輸出

固定式SS数およびセルフSS数の推移



■ 固定式SS数 ■ セルフSS数

## 設備概況

2012年3月31日現在

### 昭和シェル石油グループ 製油所主要設備能力(1日当たり)

装置名	京浜製油所水江工場 (東垂石油)	四日市製油所 (昭和四日市石油)	山口製油所 (西部石油)
常圧蒸留装置	65,000BBL (10,335KL)	210,000BBL (33,390KL)	120,000BBL (19,080KL)
揮発油水素化脱硫装置	24,000BBL (3,816KL)	69,000BBL (10,971KL)	34,000BBL (5,406KL)
接触改質装置	9,500BBL (1,511KL)	60,800BBL (9,667KL)	46,000BBL (7,314KL)
揮発油異性化装置	2,500BBL (398KL)	10,000BBL (1,590KL)	5,700BBL (906KL)
灯軽油水素化脱硫装置	35,000BBL (5,565KL)	103,500BBL (16,457KL)	57,000BBL (9,063KL)
減圧蒸留装置	58,000BBL (9,222KL)	105,000BBL (16,695KL)	44,000BBL (6,996KL)
減圧軽油水素化脱硫装置	46,000BBL (7,314KL)	40,000BBL (6,360KL)	
水素化脱ろう装置			5,000BBL (795KL)
残渣油水素化脱硫装置		45,000BBL (7,155KL)	51,500BBL (8,189KL)
重質油熱分解装置	27,000BBL (4,293KL)		
流動接触分解装置	42,000BBL (6,678KL)	61,000BBL (9,699KL)	28,000BBL (4,452KL)
アルキレーション装置		17,000BBL (2,703KL)	
分解カソリン脱硫装置		21,000BBL (3,339KL)	13,000BBL (2,067KL)
溶剤脱澱装置		9,800BBL (1,558KL)	
溶剤抽出装置		10,500BBL (1,670KL)	
溶剤脱臘装置		6,000BBL (954KL)	

ずっと走ろう。シェルと走ろう。

# 昭和シェル石油

〒135-8074 東京都港区台場2丁目3番2号(台場フロンティアビル)  
<http://www.showa-shell.co.jp/>  
(お問い合わせ先: 広報部 03-5531-5591)



水なし印刷を採用し、FSC® 認証紙と植物油インキを使用しています。

2012.4  
Printed in Japan